

ヤモリとイモリを見分けるポイント

ヤモリとイモリは比較的身近にいる生き物です。漢字で書くと「家守」「井守」と書くように、ヤモリは家を守ると言われ、イモリは井戸を守ると言われています。塗り絵をしながら、爬虫類と両生類について学びましょう。

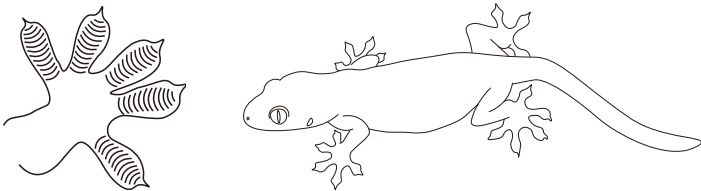
★ここを塗ってみよう

1. ヤモリとイモリの住んでいる場所

漢字で「家守」と書くようにヤモリは家を守ると言われており、樹上性で民家の屋根裏を住処にすることもあります。ニホンヤモリがいる周りの環境（卵は塗らない）を塗りましょう。対するイモリは「井守」と書くように井戸を守ると言われており、池や水田などの水流が少ない場所に生息しています。アカハライモリがいる周りを水色（卵は塗らない）で塗りましょう。

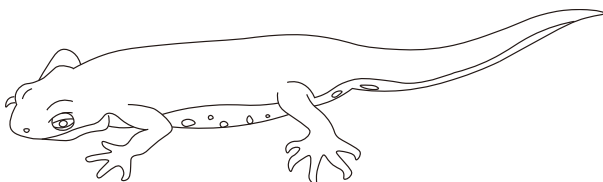
2. ヤモリの手の秘密

ニホンヤモリは、体全体に小さいうろこがあります。前足と後ろ足の指は共に5本ずつあり、指の裏側はひだ状になったうろこ（指下板）がびっしりとついています。うろこには毛が生えていて、壁やガラスに引っ掛けて登ることができます。ニホンヤモリの目、鼻、耳（目の横の穴）以外の全体と、足の裏の拡大図をその構造と指の本数に注目しながら灰色で塗りましょう。瞳は無く、猫のような瞳をしています。ニホンヤモリの目の瞳は黒く塗り、その周りを金色で塗りましょう。



3. イモリの毒ときれいな婚姻色

アカハライモリは名前の通り腹が朱色で、黒い斑点模様があるのが特徴です。前足の指は4本で後ろ足は5本あり、ヤモリのように指先に爪は生えていません。アカハライモリの頭、背中、前足後ろ足、尻尾と腹の斑点を黒で、腹側を朱色で塗りましょう。フグと同じテトロドトキシンという毒を持っているため、触った後は必ず手を洗う必要があります。目は、瞳が横に伸びています。アカハライモリの瞳の形に注目しながら黒で塗り、それ以外の部分は金色で塗りましょう。尻尾はオスが太く、メスはほっそりとしています。又、オスは繁殖期になると尻尾に婚姻色があらわれ、青紫色になります。アカハライモリの尻尾の拡大図をオスは青紫色で塗り（腹側の延長線は朱色）、メスは黒く（腹側の延長線は朱色）塗りましょう。



4. まとめ（爬虫類と両生類）

ヤモリとイモリでは分類が全く異なります。ヤモリは「爬虫類」に、イモリは「両生類」に分類されます。「爬虫類」と「両生類」の文字をそれぞれ好きな色で塗りましょう。爬虫類は、基本的には水場がなくても生活していけるように進化した生き物で、体はうろこで覆われ、その卵も固く、乾燥に耐えられるようになっています。一方、両生類は生涯のほとんどを水のある環境で過ごしている生き物です（例外も含む）。その卵は薄い皮にくるまれ、乾燥に弱く、成体になっても皮膚から水分の乾燥を防げないため、水場に依存していることが多いのです。ニホンヤモリの卵は塗らず（白色）アカハライモリの卵の核をこげ茶色で塗りましょう。